

(1) 幼児の姿

削除しています。

(2) ねらい

年少児・・・先生と一緒に喜んで参加する。

年中児・・・先生や友達と一緒に喜んで参加する。

年長児・・・年少児の世話をすることで親しみをもち、一緒に活動する楽しさを味わう。

(3) 活動の内容

時刻	幼児の活動	環境構成 (★) と教師の援助 (◇)
9:05	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わらべうた「あやめにすいせん」</li> <li>リズム「めだかのがっこう」</li> <li>わらべうた「さよならあんころもち」をする。</li> <li>・園庭に集まる。(雨天時：年少児と年長児は年少児クラス、年中児は遊戯室にて行う。)</li> <li>・年長児は年少児と、年中児はさくら組とすみれ組で二人組になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 3つの池を描いておく。</li> <li>◇年中児はいろいろな友達と触れ合えるように、教師と一緒に二人組をつくるようにする。</li> <li>◇年長児が自分から進んで年少児を迎えに行くことができるように見守ったり、一緒にする友達を探したりする。</li> </ul>
9:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あやめにすいせん」をする。</li> <li>・一緒にする友達にあいさつをする。</li> <li>・3つの池の中に分かれる。</li> <li>・「めだかのがっこう」をする。</li> <li>・「さよならあんころもち」をする。</li> <li>・一緒にした友達にお礼を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇全員の幼児がそろりまで楽しく待つことができるようにする。</li> <li>◇活動に参加しにくい幼児には声をかけたり、気持ちを受け止めたりしながら一緒に楽しめるようにする。</li> <li>◇友達と一緒に触れ合って遊ぶ喜びや、体を動かす楽しさを感じることができるようにする。</li> <li>◇一緒にした友達と言葉を交わすことで、今後の「わくわくタイム」や遊びに期待がもてるようにする。</li> </ul>

(4) 評価の観点

- 異年齢の幼児と触れ合って遊ぶ楽しさを味わうことができていたか。
- 異年齢の幼児との触れ合いを楽しめるような援助ができていたか。